# 平成25年度　ICT-BCP訓練計画

藤沢市ＩＴ推進課

2013.7.3実施

Copyright © Fujisawa City Office,All rights Reserved.

# 訓練の概要

Fujisawa City Office 藤沢市

１　実施日　　平成25年7月3日（水）　午後1時30分～

２　実施場所　藤沢市防災センター5階

３　実施目的　平成25年度藤沢市地震･津波対策避難訓練の実施にあわせ、本市のICT-BCPの初動体制が有効かどうかの確認をおこなうため。

４　訓練参加者　ＩＴ推進課職員、派遣ＳＥ、常駐ＳＥ、継続支援事業者

５　訓練想定

（１）想定災害　7月3日（水）午後1時30分に、相模湾を震源としたM7.9の大地震（南関東地震）が発生し、それに伴い気象庁は相模湾･三浦半島に大津波警報を発令、津波の第一波は10分以内に本市に到達すると発表した。

- 本市の震度　６強
- 最大津波高　10.7m
- 気象状況：曇り、気温22℃、風速5m、風向：南

Copyright © Fujisawa City Office,All rights Reserved.

# 発災直後の被害状況

Fujisawa City Office 藤沢市

１　電気　市内のほぼ全域で停電の模様。
２　都市ガス　市内のほぼ全域で供給停止の模様。
３　ＬＰガス　市内各所でかなりの数のボンベが転倒の模様。
４　水道　市内全域で断水している模様。
５　電話
（１）加入電話は繋がりにくい状況
（２）災害時優先電話は使用可能
（３）災害用伝言ダイヤルの運用開始
（４）携帯電話も加入電話と同様に繋がりにくい状況
（５）災害時優先携帯電話は使用可能
（６）災害用伝言板の運用を開始
（７）メールは利用できる状況

Copyright © Fujisawa City Office,All rights Reserved.

# 発災直後の被害状況（午後1時40分）

Fujisawa City Office 藤沢市

６　すべての公共交通機関は運行停止の模様
（１）電鉄各社（ＪＲ東日本、小田急江ノ島線、相鉄、横浜市営地下鉄
江ノ島電鉄、湘南モノレール）
（２）バス（神奈川中央交通、江ノ電バス）
（３）タクシー
７　道路の状況
（１）バイパス　新湘南バイパス、藤沢バイパスは通行止め
（２）国道１３４号線はいたるところで道路損壊の模様
（３）市内の道路は、いたるところで民家のブロック塀や立ち木、
電柱等が倒壊、道路の破損もあるため通行困難
８　河川及び橋梁の状況
（１）引地川　橋梁は複数のクラックが確認されるも落橋はなく、
通行可能
（２）境川　　橋梁は複数のクラックが確認されるも落橋はなく、
通行可能
９　港湾の状況
（１）湘南港　液状化が確認された模様
（２）片瀬漁港　液状化が確認された模様

Copyright © Fujisawa City Office,All rights Reserved.

# 訓練想定シナリオ（１）

Fujisawa City Office 藤沢市

１　発災時のＩＴ推進課の状況

　ＩＴ推進課では、月初ではあるが比較的落ち着いた状況で、課員、派遣ＳＥ、常駐ＳＥ、オペレータとも通常業務に従事していた。

　なお、当日の出欠状況は、ＩＴ推進課長は、国の会議出席のため、霞ヶ関に出張中、夏季休暇のため、基幹系職員1名、情報系職員1名、情報政策職員1名、派遣ＳＥ1名の計５名が不在となっていた。

　また、たまたま屋外にいた常駐ＳＥが建物からの落下物によって頭部を負傷し、ＩＴ推進課執務室内で応急措置を受けている。

　加えて、災害対策本部応援職員として2名の職員が災害対策本部に常駐となっている。

２　安否確認、要員の確保

　ＩＴ推進課職員１６名、派遣ＳＥ８名、オペレータ２名、常駐ＳＥ４名の安否確認は取れた。

　ＩＴ推進課長については、メールにて無事が確認されたものの、霞ヶ関におり、徒歩で藤沢に戻るため４８時間かかる模様。

　夏季休暇中の職員等については、これから職場に向かうとの連絡があったが、　到着時間は未定。

Copyright © Fujisawa City Office,All rights Reserved.

# 訓練実施前の前提条件

Fujisawa City Office 藤沢市

１　ＩＴ推進課

（１）マシン室

マシン室のサーバについては、発災時にＵＰＳが起動し、全システムが非常用電源にて稼動している。ネットワーク機器についても、稼動している。

（２）ＩＴ推進課執務室

執務室も非常用電源配下の端末機器は稼働中。

２　防災センター全体

防災センターは非常用電源により電源が供給されている状況。

３　本庁各施設

新館と本館を結ぶ高架橋が崩落。新館との通信ができない状態。
第１,２,３,４庁舎、職員会館は電源が供給されていないため、通信ができない状態。

Copyright © Fujisawa City Office,All rights Reserved.

# 訓練実施前の前提条件２

Fujisawa City Office 藤沢市

４　地域職場

- 全市民センターとも、大きな被害は無い模様。しかし、鵠沼市民センター、片瀬市民センター、辻堂市民センターは津波の影響を受けるとの理由で施設がロックアウトされているとの情報が入っている。
  六会市民センターは非常用電源が動いている模様。

- その他の地域職場も停電している。

- 市民病院は施設に大きな被害は無い模様だが、負傷者の収容に追われ、こちらからの連絡が取れない状況となっている。

- 保健所については、津波の影響で付近の境川が逆流するとのうわさで、避難する市民が殺到している状況。施設の被害は今のところなし。

Copyright © Fujisawa City Office,All rights Reserved.

# 訓練内容

Fujisawa City Office 藤沢市

１　ＩＴ－ＢＣＰ継続チームの立ち上げ

２　被害状況の確認
　　在課の職員、ＳＥ、オペレータですぐに被害状況の確認をおこなう。
　　確認箇所はチェックリストのとおり

３　運用可能資産の洗い出し、運用計画の作成
　　被害状況調査に基づき、継続運用可能の資産を洗い出し、当面の業務継続計画ならびに復旧計画を立案する。

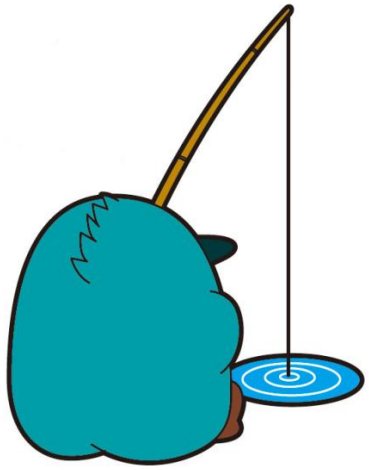
４　運用継続計画、復旧行動計画の承認
　　業務継続計画、復旧行動計画について、ＩＴ推進課長にメールで連絡をとり、総務部長、ＣＩＯに承認を得る。

５　業務継続計画、復旧行動計画の実施

Copyright © Fujisawa City Office,All rights Reserved.

# 2013年津波避難訓練対象地域図

| | |
|---|---|
| ① | 高砂小学校 |
| ② | 湘南工科大学附属高等学校 |
| ③ | 湘南工科大学・湘南工科大学大学院 |
| ④ | 高浜中学校 |
| ⑤ | 浜見小学校 |
| ⑥ | 湘洋中学校 |
| ⑦ | 鵠南小学校 |
| ⑧ | 辻堂小学校 |
| ⑨ | 八松小学校 |
| ⑩ | 鵠洋小学校 |
| ⑪ | 湘南学園小学校 |
| ⑫⑬ | 湘南学園高等学校・湘南学園中学校 |
| ⑭ | 鵠沼中学校 |
| ⑮ | 藤嶺学園鵠沼高等学校 |
| ⑯ | 片瀬小学校 |
| ⑰ | 片瀬中学校 |
| ⑱ | 湘南白百合学園中学校・湘南白百合学園高等学校 |
| ⑲ | 湘南白百合学園小学校 |



Copyright © Fujisawa City Office,All rights Reserved.

# 添付資料（1）行動計画書

| 項番 | 項目 | チェック | 復旧手順・内容 | 担当者 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 地震情報の収集 | □ | ﾃﾚﾋﾞ・ﾗｼﾞｵ・防災行政無線等から地震情報の収集に努める。 | 全職員 | |
| 2 | 参集判断 | □ | 「藤沢市地域防災計画」及び「4.1.IT-BCP＜地震編＞発動の流れ」に基づき、参集するか否かの判断を行う。 | 全職員 | |
| | | □ | ・震度５（強）以上の地震が発生した場合<br>→　災害対策本部の設置とともにＩＴ継続ﾁｰﾑを設置 | | |
| | | □ | ・上記以外で、災害対策本部が設置された場合<br>→　最高情報統括責任者（副本部長）が必要と認める場合 | | |
| | | □ | ・災害対策本部が設置されず、情報ｼｽﾃﾑ・ﾈｯﾄﾜｰｸに重大な被害が発生若しくはその恐れがある場合<br>→　情報統括責任者が必要と認める場合 | | |
| 3 | 職員参集 | □ | 応急活動に便利で安全な服装を着用し、帽子又はﾍﾙﾒｯﾄ、手袋、ﾀｵﾙ、水筒、食糧、筆記用具、懐中電灯、ﾗｼﾞｵ（FM付）、応急医薬品及び身分証明書等を携行すること。 | 全職員 | |
| | | □ | ※IT推進課の職員等の参集場所は、「3.3.参集及びその後の対応」に定めるとおり、防災ｾﾝﾀｰ５Ｆ　IT推進課とする。 | IT推進課職員 | |
| | | □ | IT推進課の職員等は、自分の状況、参集予想時刻等をＩＴ推進課へ電子ﾒｰﾙを送付する。<br>IT推進課ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：joho005@city.fujisawa.lg.jp<br>※安否状況、予想到着時間等に変更が生じた場合、①又は②の手段により、IT推進課に報告をする。<br>①IT推進課所有の携帯へ電話 | | |
| | | □ | ※携帯インターネットによる「災害用伝言板サービス」が利用可能な場合は、このサービスも利用し、自分の状況及び参集予想時刻等を報告する。 | | |
| | | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ（情報ﾈｯﾄﾜｰｸ・ｾｷｭﾘﾃｨ管理者）及びIT推進課管理者は、本書の写し及び緊急時連絡網を携行し、必要に応じて手順等を確認する。 | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ及びIT推進課管理者 | |
| | | □ | ◆職員等緊急時連絡網（別紙１） | | |
| 4 | 参集時の緊急措置 | □ | 「藤沢市地域防災計画」に基づき、参集途上において火災或いは人身事故等に遭遇したときには、付近住民に協力し消火又は救助活動等を第一とするとともに、最寄りの地区防災拠点本部又は消防署等へ通報する。<br>参集時の緊急措置<br>・市役所、各庁舎の被害状況の把握<br>・被害状況をふまえて、庁舎等の緊急防護措置<br>・庁舎内の安全確保（初期消火、飛散ｶﾞﾗｽ処理等）<br>・非常用発電機能や通信機能の点検等 | 全職員 | |
| 5 | 参集時の情報収集 | □ | 参集途中の被害状況に関する情報収集を行う。<br><br>※公共交通機関の運行状況、物資運搬に係る周辺道路通行状況、周辺地域の火災の有無など | 全職員 | |
| 6 | 入室 | □ | IT推進課の職員等は、防災ｾﾝﾀｰ５ＦのIT推進課に参集する。 | IT推進課職員及びIT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ | ※鍵・ICｶｰﾄﾞ保管場所<br>・中央監理室(新館1階)<br>・IT推進課ｷｰﾎﾞｯｸｽ<br>（停電時対応可能）<br>※扉の破壊等が必要な場合は、参集している職員等で協議し、最上位職位の職員の判断のもと、対応する。<br>※「ﾊﾛｹﾞﾝ化物消火設備(FM-200)取扱説明書」を参照 |
| | | □ | 防災ｾﾝﾀｰ通用口、IT推進課執務室入口、ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室への入室用の「鍵」及び「ICｶｰﾄﾞ」を確保する。 | | |
| | | □ | 鍵等が入手できない場合、若しくは電気系統のﾄﾗﾌﾞﾙなどにより解錠できない場合には、階下の消防本部の支援を求め入室す | | |
| | | □ | 防災ｾﾝﾀｰにおいて火災が発生している場合は、消防本部の支援を求め、消火器及び屋内消火栓設備等を用いて初期消火に努め | | |
| | | □ | ※防災ｾﾝﾀｰ５Ｆｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室はﾊﾛｹﾞﾝ化物消火設備(FM-200)が設置されており、火災を検知すると自動で作動する。<br>作動の際には、区画内から人員を退避させる。<br>（手動への変更可） | | |

# 添付資料（1）行動計画書

| 項番 | 項目 | チェック | 復旧手順・内容 | 担当者 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 7 | 要員及び継続支援事業者の確保 | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、ﾒｰﾙ及び携帯電話等による職員等の参集報告により、必要最小資源ﾘｽﾄに基づく要員の確保を行う。<br>◆必要最小資源ﾘｽﾄ(2.3.(6))<br>◆『IT-BCP<新型ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ編>』RA結果一覧(情報ｼｽﾃﾑ継続体 | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ | |
| | | □ | 職員等が収集した情報ｼｽﾃﾑに関する庁舎及び周辺情報は、IT継続ﾁｰﾑ事務局において集約し、IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰから本部事務局(総務部)に報告する。 | IT推進課職員<br>及び<br>IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ | ※IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰが参集できない等により不在の場合には、副ﾘｰﾀﾞｰ若しくはｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ等が |
| | | □ | 継続ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰは、継続支援事業者への継続協力要請を行う。 | 継続ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ | ※継続ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰが参集できない等により不在の場合には、継続ｸﾞﾙｰﾌﾟﾒﾝﾊﾞｰ等が代行する |
| | | □ | IT継続推進事務局を中心とした職員等は、各課等からの問い合わせに対応し、ｼｽﾃﾑ等に関する報告を受けた場合は、「各課報告ﾁｪｯｸｼｰﾄ」に集計し、IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰに報告する。<br>◆各課報告ﾁｪｯｸｼｰﾄ(様式５) | IT継続推進事務局<br>IT推進課職員 | |
| 8 | 参集後の初期調査 | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、「重要ﾃﾞｰﾀﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟﾘｽﾄ」に基づき、重要な情報資産の所在を確認する。<br>◆重要ﾃﾞｰﾀﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟﾘｽﾄ(別紙３) | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ | |
| | | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、職員等に「損害評価ﾁｪｯｸｼｰﾄ（ﾌﾛｱ）」を用い、外観からの目視による調査を指示する。<br>調査結果は、IT継続ﾁｰﾑ事務局にて集約し、IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰに報告するとともに、白板等に掲示する。<br>※主な調査項目<br>・各庁舎の入館の可否、出火、通電の有無<br>・市民、職員等の負傷者の有無<br>・電話、ﾒｰﾙ等通信機器の使用の可否<br>・IT推進課設置端末よりﾈｯﾄﾜｰｸ監視ﾂｰﾙを用いて、庁内ＬＡＮの接続状況の確認を行う　等<br>◆損害評価ﾁｪｯｸｼｰﾄ(ﾌﾛｱ)（様式１） | IT推進課職員<br>及び<br>IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ | |
| | | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、IT推進課執務室及びｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室以外で作業する者に行き先、作業内容、帰庁時間等を白板（行き先表示板）に記載させ、要員の配置状況を管理する。 | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ | |
| | | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室の開放やｱｸｾｽ権等、情報ｾｷｭﾘﾃｨにおける機密性の低減に影響する処置について、情報統括責任者若しくは最高情報統括責任者の指示に基づき実施する。 | | |
| 9 | IT継続チームの体制見直し | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、参集人員及び情報ｼｽﾃﾑの被害状況等を確認し、IT継続ﾁｰﾑの体制を見直す。<br>※BIA及びRA結果、「必要最小資源ﾘｽﾄ」に基づき、各継続ｸﾞﾙｰﾌﾟの要員を確保する。<br>◆BIA及びRA結果（3.1.及び3.2.）<br>◆必要最小資源ﾘｽﾄ(2.3.(6))<br>◆『IT-BCP<新型ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ編>』RA結果一覧(情報ｼｽﾃﾑ継続体制) | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ | |
| | | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、ＩＴ継続ﾁｰﾑの体制を見直し、本部事務局(総務部)に報告する。 | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ<br>及び 副ﾘｰﾀﾞｰ | |
| | | □ | IT継続ﾁｰﾑ副ﾘｰﾀﾞｰは、防災ｾﾝﾀｰ４階に設置された本部事務局(総務部)との連絡体制を確立する。<br>・連絡窓口、連絡手段などの決定 | | |

| 項番 | 項目 | チェック | 復旧手順・内容 | 担当者 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 10 | 初期損害調査 | □ | ＜主に防災ｾﾝﾀｰ５Ｆ　ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室＞<br>IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰの指示を受けた各継続ｸﾞﾙｰﾌﾟは、「損害評価ﾁｪｯｸｼｰﾄ」を用いて、情報ｼｽﾃﾑ、ﾈｯﾄﾜｰｸに関する詳細調査を実施する。<br>調査は、優先項目を中心に行うとともに、項目以外に気づいた点などは、ｼｰﾄ余白等に記載すること。<br>調査結果はIT継続ﾁｰﾑ事務局にて集約し、IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰに報告する。<br>◆損害評価ﾁｪｯｸｼｰﾄ（情報ｼｽﾃﾑ）（様式２）<br>◆損害評価ﾁｪｯｸｼｰﾄ（主要ﾈｯﾄﾜｰｸ）　（様式３）<br>◆損害評価ﾁｪｯｸｼｰﾄ（ﾈｯﾄﾜｰｸ）　（様式４） | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ<br>及び<br>継続ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ | |
| | | □ | ＜主に各庁舎＞<br>IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰの指示を受けた各継続ｸﾞﾙｰﾌﾟは、「損害評価ﾁｪｯｸｼｰﾄ」を用いて、各庁舎の情報ｼｽﾃﾑ、ﾈｯﾄﾜｰｸに関する詳細調査を実施する。<br>調査は、優先項目を中心に行うとともに、項目以外に気づいた点などは、ｼｰﾄ余白等に記載すること。<br>調査結果はIT継続ﾁｰﾑ事務局にて集約し、IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰに報告する。<br>※各庁舎における調査においては、庁舎の安全を十分確認した上で、実施する。<br>◆損害評価ﾁｪｯｸｼｰﾄ（ﾌﾛｱ）　（様式１） | 継続ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ | |
| | | □ | IT継続推進事務局は、各課からの問い合わせに対応するとともに、独自ｼｽﾃﾑ等に関する報告を受けた場合は、「各課報告ﾁｪｯｸｼｰﾄ」に集計し、IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰに報告する。<br>◆各課報告ﾁｪｯｸｼｰﾄ(様式５) | IT継続ﾁｰﾑ<br>事務局 | |
| 11 | 初期損害評価 | □ | 各継続ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰは、「損害評価ﾁｪｯｸｼｰﾄ」基づき、各ｼｽﾃﾑの復旧見込時間を判断する。<br>目標復旧時間と復旧見込時間に差異が生じた場合には、「復旧対策ｼｰﾄ」により対応を図る。<br>評価結果は、IT継続ﾁｰﾑ事務局にて集約し、IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰへ報告する。<br>※必要に応じて、参集している継続支援事業者と協議を行う。<br>◆復旧対策ｼｰﾄ(様式６) | 継続ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ | |
| | | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰの指示を受けた各継続ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰは、代替機器・ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ媒体等の手配を行い、手配可能な個数、到着時間等についてIT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰに報告する。 | | |
| | | □ | 基幹系継続ﾁｰﾑﾒﾝﾊﾞｰは、継続対象ｼｽﾃﾑの利用が困難であると判断された場合、「災害時の情報ｼｽﾃﾑ相互利用協定」に基づき、杉並区への連絡をおこない、対応の可否を確認し、結果をIT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰに報告する。 | 基幹系継続ﾒﾝﾊﾞｰ<br>及び<br>IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ | |
| | | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、損害評価結果を取りまとめ、本部事務局(総務部)に報告する。 | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ | |

| 項番 | 項目 | チェック | 復旧手順・内容 | 担当者 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 復旧準備 | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、最高情報統括責任者の指示に基づき、各継続ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰと協議し、復旧方針を検討する。<br>※情報ｼｽﾃﾑ及びﾈｯﾄﾜｰｸ復旧に関する優先順位の変更や暫定対応方法（杉並区との協定に基づく対応等）、ﾁｰﾑ編成、役割、担<br>当者、作業が長時間となる場合の要員の交代方針等 | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ | |
| | | □ | 最高情報統括責任者は損害評価結果報告を受け、代替資源による復旧判断を行う。 | 最高情報統括<br>責任者 | |
| 13 | 復旧資源の確認 | □ | <防災ｾﾝﾀｰの使用が可能な場合><br>最高情報統括責任者は、継続対象ｼｽﾃﾑ利用課が業務遂行するための代替端末や場所の確保、配置について、情報統括責任者及びIT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰと協議し決定する。 | 最高情報統括<br>責任者 | |
| | | □ | ◆BIA及びRA結果（3.1.及び3.2.）<br>IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、復旧方針等に基づき、継続支援事業者に要員の派遣及び機材の調達等を行う。<br>なお、防災センター５F廊下に端末等を設置する場合は、配線、電気容量等について、継続支援事業者と協議のうえ、実施 | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ | |
| | | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、災害協定に基づく対応を杉並区へ依頼する場合、外部保管している記録媒体の運搬、対応要員の調整をおこなう。 | | |
| | | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、連絡が取れないＩＴ推進課の職員等の安否確認を行う。 | | |
| 14 | システム・ネットワークの復旧 | □<br>□ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰの指示を受けた各継続ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰは、BIA及びRA結果に基づき、情報ｼｽﾃﾑと基盤の復旧作業を行う。<br>◆BIA及びRA結果（3.1.及び3.2.） | 継続ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ | |
| | | □ | 復旧作業中、各継続ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰは「復旧進捗報告ｼｰﾄ」を用いて３時間毎に、或いは問題が発生した場合には随時にIT継続ﾁｰﾑ事務局を通してIT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰに報告を行う。<br>◆復旧進捗報告ｼｰﾄ(様式８) | | |
| | | □ | 情報ｼｽﾃﾑの復旧作業の完了は、継続対象ｼｽﾃﾑ利用課の検証作業の終了をもって完了とする。 | | |
| | | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは各継続ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰの進捗の報告をもって、最高情報統括責任者へ報告する。 | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ | |
| 15 | 復帰計画策定 | □ | 復旧終了後、情報統括責任者及びIT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、ｼｽﾃﾑの復帰方針を策定する。<br>最高情報統括責任者は、復帰方針を決定する。<br>・情報ｼｽﾃﾑの制限範囲<br>・応急運用から通常運用への移行時期<br>・災害協定に基づく対応　　等を考慮する | 最高情報統括<br>責任者<br>情報統括責任者<br>IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ | |
| | | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、最高情報統括責任者の指示に基づき、復帰計画を策定する。<br>・業務遂行場所の確保、整備<br>・通常運用への移行に伴うﾈｯﾄﾜｰｸの再整備<br>・情報ｼｽﾃﾑ機器の配置　等<br>※ｼｽﾃﾑのﾘﾘｰｽに制限範囲がある場合には、状況を的確に把握し、適切な判断を行わなければならない。 | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ | |
| 16 | 継続対象システム利用課へのシステムのリリース | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、復帰計画に基づき各継続ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰにｼｽﾃﾑ再開の準備を指示する。 | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ | |
| | | □ | ※継続対象ｼｽﾃﾑ利用課の庁舎が使えない場合には、情報統括責任者及びIT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、仮の業務遂行場所等について協議する。<br>最高情報統括責任者は、仮の業務遂行場所等を決定する。 | | |
| | | □ | 各継続ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰは、ｼｽﾃﾑ再開時に向け、制限事項（端末台数、利用時間、機能制限等）がある場合には、事前にIT継続ﾁｰﾑ事務局を通してIT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰに報告を行う。 | 継続ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ | |
| | | □ | 各継続ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰは、IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰの指示に基づき、業務主管課を通し、継続対象ｼｽﾃﾑ利用課へｼｽﾃﾑの再開を通知する。 | | |
| | | □ | ※継続対象ｼｽﾃﾑ利用課へのｼｽﾃﾑのﾘﾘｰｽは、どの時点までのﾃﾞｰﾀであるかを明確に伝える必要がある。 | | |
| | | □ | ※継続対象ｼｽﾃﾑ利用課は、手書きで行った業務のﾃﾞｰﾀを入力するなど、ｼｽﾃﾑ停止期間中のﾃﾞｰﾀ継続に努める。 | | |
| | | □ | ※市民への業務再開の通知やｻｰﾋﾞｽ提供場所の案内は、業務主管課が藤沢市ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ等を用いて行う。 | | |

| 項番 | 項目 | チェック | 復旧手順・内容 | 担当者 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、進捗を取りまとめ、本部事務局(総務部)へ報告する。 | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ | |
| 17 | IT継続チームの解散と通常業務への切替 | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、情報ｼｽﾃﾑ及びﾈｯﾄﾜｰｸの復帰を確認し、本部事務局(総務部)に報告する。 | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ | |
| | | □ | IT継続ﾁｰﾑは、最高情報統括責任者の指示により解散する。 | 最高情報統括責任者 | |
| | | □ | 通常業務への切り替えの際には、IT継続ﾁｰﾑの解散後に復旧や復帰作業が残存する場合も考えられるので、継続的作業が遂行できる体制を維持する。 | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ | |
| | | □ | IT継続ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰは、情報ｾｷｭﾘﾃｨにおける機密性の低減に影響する処置等を行った場合は、発災前の水準に回復させる対応を早急に行わなければならない。 | | |
| | | □ | 情報ﾈｯﾄﾜｰｸ・ｾｷｭﾘﾃｨ管理者は、災害時の作業記録を取りまとめ、ＩＴ継続委員会及び情報ｾｷｭﾘﾃｨ委員会に報告する。<br>また、必要に応じてＩＴ－ＢＣＰ＜地震編＞の見直しを行う。 | | |

# 添付資料（2）被害評価チェックシート

**●損害評価チェックシート（情報システム）**

| 継続チーム名 | 記入者 | 確認年月日 | 確認時間 |
|---|---|---|---|
| | | 年　月　日 | ： |

| システム基本情報 | | | | | システム稼働の可否 | システム復旧見込時間 | システム主要機器（SV・ACOS） | | | ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ基本情報 | | バックアップ媒体 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 情報システム名 | 業務主管課 | NW形態 | 復旧見込時間 | 復旧目標RTO | | | 主要機器障害の有無 | 代替機器の有無 | 代替機器到着見込時間 | 庁内保管 | 遠隔保管 | バックアップ媒体の損害 | ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ媒体到着見込 |
| A0（税） | 納税課・市民税課・資産税課 | 業務系（ACOS） | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 日次 2世代 FULL | 2世代 FULL | □有 □無 | |
| A5（住民記録） | 市民窓口センター | | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 日次 2世代 FULL | 2世代 FULL | □有 □無 | |
| A6（国保） | 保険年金課（国保） | | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 日次 2世代 FULL | 2世代 FULL | □有 □無 | |
| A9（企業会計） | 土木経営課 病院総務課 | | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 日次 2世代 FULL | 2世代 FULL | □有 □無 | |
| AA（戸籍附票連動ファイル） | 市民窓口ｾﾝﾀｰ | | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 日次 2世代 FULL | 2世代 FULL | □有 □無 | |
| KG（介護） | 介護保険課 | | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 日次 2世代 FULL | 2世代 FULL | □有 □無 | |
| KK（後期高齢者） | 保険年金課（後期高齢） | | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 日次 2世代 FULL | 2世代 FULL | □有 □無 | |
| NK1（年金） | 保険年金課（年金） | | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 日次 2世代 FULL | 2世代 FULL | □有 □無 | |
| RK（住基ネットAPサーバ連携業務） | 市民窓口ｾﾝﾀｰ | | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 日次 2世代 FULL | 2世代 FULL | □有 □無 | |
| SK（選挙） | 選挙管理委員会 | | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 日次 2世代 FULL | 2世代 FULL | □有 □無 | |
| その他バッチシステム | ﾊﾞｯﾁｼｽﾃﾑ利用課 | | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 日次 2世代 FULL | 2世代 FULL | □有 □無 | |
| ファイルサーバ（Gドライブ） | IT推進課 | 業務系 | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 日次 5世代 FULL | 2世代 FULL | □有 □無 | |
| メールシステム | IT推進課 | 情報系（ポータル） | A | A-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| ポータル（グループウェアシステム） | IT推進課 | | A | A-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 日次 | 有 | □有 □無 | |
| ポータル（財務会計システム） | 財政課 | | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 日次 | 有 | □有 □無 | |
| ポータル（文書管理システム） | 文書統計課 | | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 日次 | 有 | □有 □無 | |
| ポータル（旅費管理システム） | 行政総務課 | | C | C-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 日次 | 有 | □有 □無 | |
| ファイルサーバ（Nドライブ） | IT推進課 | 情報系 | A | A-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 日次 5世代 FULL | 5世代 FULL | □有 □無 | |
| GISシステム | IT推進課 | 地域イントラ | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 共通地図システム | IT推進課 | | C | C-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 地域イントラ系セキュリティシステム | IT推進課 | | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 有 | － | □有 □無 | |
| 研修環境システム | IT推進課 | 独自LAN | C | C-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | － | － | □有 □無 | |
| 入退管理システム | IT推進課 | | C | C-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 情報系ログイン（セキュリティ） | IT推進課 | 業務系・情報系 | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 週次 | － | □有 □無 | |
| 業務系ログイン（セキュリティ） | IT推進課 | | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 週次 | － | □有 □無 | |
| インターネット閲覧（セキュリティ） | IT推進課 | | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 情報系端末（セキュリティ） | IT推進課 | | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 週次 | － | □有 □無 | |
| 業務系端末（セキュリティ） | IT推進課 | | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 週次 | － | □有 □無 | |
| セキュリティ運用管理 | IT推進課 | | B | B-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| ネットワーク（情報系） | IT推進課 | | A | A-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |

# 添付資料（2）被害評価チェックシート

| システム基本情報 | | | | | システム稼働の可否 | システム復旧見込時間 | システム主要機器（SV・ACOS） | | | ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ基本情報 | | バックアップ媒体 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 情報システム名 | 業務主管課 | NW形態 | 復旧見込時間 | 復旧目標RTO | | | 主要機器障害の有無 | 代替機器の有無 | 代替機器到着見込時間 | 庁内保管 | 遠隔保管 | バックアップ媒体の損害 | ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ媒体到着見込 |
| ネットワーク（基幹系） | IT推進課 | | A | A-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| ネットワーク（地域イントラ） | IT推進課 | | A | A-2h | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 危機管理システム | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 地震観測収集システム | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 地震被害予測システム | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 災害対応支援システム | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 大型映像システム | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| テレビ会議システム | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 高所カメラ（NTT鉄塔、江の島、日大） | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 被災者支援システム | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 緊急地震速報システム | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 藤沢市防災気象情報システム | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 防災行政無線 | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| MCA無線 | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 衛星通信システム | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 神奈川県防災情報管理システム | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 神奈川県防災行政通信網システム | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| Emネットシステム | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 緊急速報メールシステム（エリアメール） | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| ふじさわ防災ナビ（防災インフォメーション） | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| ふじさわ防災ナビ（防災気象情報メール） | 防災危機管理室 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |
| 消防システム | 消防総務課 | | | | □可 □否 | | □有 □無 | □有 □無 | | 年次 | － | □有 □無 | |

※復旧見込時間の区分

A：24時間以内　B：3日程度　C：1週間程度　D：1週間以上（1ヶ月程度）

※ﾊﾞｯｸｱｰﾌﾟﾃﾞｰﾀの庁内保管場所は 防災ｾﾝﾀｰ5Fﾃﾞｰﾀ保管庫

（詳細はIT-BCP＜地震編＞別紙3　重要ﾃﾞｰﾀﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟﾘｽﾄを参照）

# 添付資料（2）被害評価チェックシート

## ●損害評価チェックシート（情報システム）

| 復旧チーム名 | 記入者 | 確認年月日 | 確認時間 |
|---|---|---|---|
| | | 年　月　日 | ： |

| LAN形態 | システム基本情報 | | | システム稼働の可否 | システム復旧見込み | システム主要機器（SV・ACOS） | | | バックアップ媒体 | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 情報システム名 | 復旧優先順位 | 復旧目標RTO | | | 主要機器障害の有無 | 代替機器の有無 | 代替機器到着見込み | バックアップ媒体の損害 | バックアップデータ保証期間 | バックアップ媒体到着見込み | |
| NW | 情報系ネットワーク | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 業務系ネットワーク | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 地域イントラネットワーク | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 情報系端末(セキュリティ)システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 基幹系端末(セキュリティ)システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | セキュリティ運用管理システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 情報系ログイン(セキュリティ)システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 基幹系ログイン(セキュリティ)システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 地域イントラ系セキュリティシステム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | インターネット閲覧(セキュリティ)システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| 業務系 | A0（税）システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | A5（住民記録）システム | | | □可　□否 | | | | | □有　□無 | | | |
| | A6（国保）システム | | | □可　□否 | | | | | □有　□無 | | | |
| | A9（企業会計）システム | | | □可　□否 | | | | | □有　□無 | | | |
| | AA（戸籍附票連動ファイル）システム | | | □可　□否 | | | | | □有　□無 | | | |
| | KG（介護）システム | | | □可　□否 | | | | | □有　□無 | | | |
| | KK（後期高齢者）システム | | | □可　□否 | | | | | □有　□無 | | | |
| | NK1（年金）システム | | | □可　□否 | | | | | □有　□無 | | | |
| | RK（住基ネットAPサーバ連携業務）システム | | | □可　□否 | | | | | □有　□無 | | | |
| | SK（選挙）システム | | | □可　□否 | | | | | □有　□無 | | | |
| | その他バッチシステム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | ファイルサーバ（Gドライブ） | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| 情報系 | ポータル（グループウェアシステム） | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | ポータル（財務会計システム） | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | ポータル（文書管理システム） | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | ポータル（旅費管理システム） | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | ファイルサーバ（Nドライブ） | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | メールシステム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | GISシステム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| PFI | 共通地図システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 研修環境システム(ADSL) | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 入退管理システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 危機管理システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 地震観測収集システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 地震被害予測システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 災害対応支援システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 大型映像システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | テレビ会議システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 高所カメラ（NTT鉄塔、江の島、日大） | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 被災者支援システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |

# 添付資料（2）被害評価チェックシート

| LAN形態 | システム基本情報 | | | システム稼働の可否 | システム復旧見込み | システム主要機器（SV・ACOS） | | | バックアップ媒体 | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 情報システム名 | 復旧優先順位 | 復旧目標RTO | | | 主要機器障害の有無 | 代替機器の有無 | 代替機器到着見込み | バックアップ媒体の損害 | バックアップデータ保証期間 | バックアップ媒体到着見込み | |
| 防災系 | 緊急地震速報システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 藤沢市防災気象情報システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 防災行政無線 | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | MCA無線 | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 衛星通信システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 神奈川県防災情報管理システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 神奈川県防災行政通信網システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | Emネットシステム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | 緊急速報メールシステム（エリアメール） | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | ふじさわ防災ナビ（防災インフォメーション） | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | ふじさわ防災ナビ（防災気象情報メール） | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| 消防系 | 消防システム | | | □可　□否 | | □有　□無 | □有　□無 | | □有　□無 | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

## ●損害評価チェックシート（ネットワーク機器）

| 継続チーム名 | 記入者 | 確認年月日<br>年　月　日 | 確認時間<br>： |
|---|---|---|---|

○本庁

| 項目 | 階 | 2960G（L2）<br>確認時間（　：　） | QX－S（情報系）<br>確認時間（　：　） | QX－S（業務系）<br>確認時間（　：　） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 防災センター | 1F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 2F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 3F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 4F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 5F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 6F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | RF | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| 新館 | B2F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | B1F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 1F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 2F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 3F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 4F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 5F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 6F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 7F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | RF | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| 本館 | 1F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 2F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 3F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| 職員会館 | B1F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 1F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 2F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 3F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| 東館 | B1F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 1F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 2F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 3F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| 第一庁舎 | 1F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 2F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 3F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 4F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| 第二庁舎 | 1F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 2F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |
| | 3F | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | □OK　□NG（　台） | |

| 項目 | 確認時間 | 接続状況 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 住基ネット（県・国等） | | □OK<br>□NG | |
| LGWAN（県・国等） | | □OK<br>□NG | |
| インターネット網 | | □OK<br>□NG | |

## 添付資料(2)被害評価チェックシート

○出先機関

| 項目 | 階 | IX2015<br>確認時間（　　：　　） | QX－S（情報系）<br>確認時間（　　：　　） | QX－S（業務系）<br>確認時間（　　：　　） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出先職場<br>（　　） | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| 出先職場<br>（　　） | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| 出先職場<br>（　　） | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| 出先職場<br>（　　） | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| 出先職場<br>（　　） | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| 出先職場<br>（　　） | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| 出先職場<br>（　　） | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| 出先職場<br>（　　） | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| 出先職場<br>（　　） | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| 出先職場<br>（　　） | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| 出先職場<br>（　　） | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| 出先職場<br>（　　） | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| 出先職場<br>（　　） | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |
| | | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | □OK　□NG（　　台） | |

# 添付資料（2）被害評価チェックシート

## ①損害評価チェックシート（フロア：防災センター）

| 継続チーム名 | 記入者 | 確認年月日 | 確認時間 |
|---|---|---|---|
| | | 年　月　日 | ： |

| 分類 | 優先順位 | 項目 | 防災センター 全体 | 防災センター 1F | 防災センター 2F | 防災センター 3F | 防災センター 4F | 防災センター 5F | 防災センター 6F | 防災センター 屋上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 確認時間 ： | 確認時間 ： | 確認時間 ： | 確認時間 ： | 確認時間 ： | 確認時間 ： | 確認時間 ： | 確認時間 ： |
| 建物資産被災状況 | ◎ | 入室可否<br>【外壁のひび割れや転倒物、施錠の有無】 | □可 □否 □不明 | □可 □否 □不明 | □可 □否 □不明 | □可 □否 □不明 | □可 □否 □不明 | □可 □否 □不明 | □可 □否 □不明 | □可 □否 □不明 |
| | ◎ | 負傷者<br>【市民及び職員等の負傷者の有無と安全確保】 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | ◎ | 出火<br>【炎、煙の有無】 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | ○ | 漏水<br>【天井からの水漏れ、水溜りの有無と電源の位置】 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | ○ | ガス漏れ<br>【ｶﾞｽ管、給湯機器等の位置、臭い、ﾎﾞﾝﾍﾞの有無】 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | | 電源設備損傷<br>【配電盤等の位置確認、損傷の有無、稼動の可否】 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | | 空調設備損傷<br>【主にｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室、損傷の有無、稼動の可否】 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | | 通信設備損傷（光ｹｰﾌﾞﾙ／PP）<br>【ｹｰﾌﾞﾙの位置確認、損傷の有無】 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | | 通信設備損傷（UTPケーブル）<br>【ｹｰﾌﾞﾙの位置確認、損傷の有無】 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | ○ | 外部電源損傷（自家発電機）<br>【稼動の可否、損傷、保管燃料在庫の有無】 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | | 無線LAN損傷<br>【ｹｰﾌﾞﾙの位置確認、損傷の有無】 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | | （　　） | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | | （　　） | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| システム資産被災状況 | | NW機器損傷（L3スイッチ）<br>【機器の位置確認、損傷の有無、稼動の可否】 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | | NW機器損傷（L2スイッチ）<br>【機器の位置確認、損傷の有無、稼動の可否】 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | ○ | 端末損傷（情報系）<br>【転倒、損傷の有無】 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | ○ | 端末損傷（業務系）<br>【転倒、損傷の有無】 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | ○ | プリンタ損傷（情報系）<br>【転倒、損傷の有無】 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | ○ | プリンタ損傷（業務系）<br>【転倒、損傷の有無】 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | | FAX損傷<br>【転倒、損傷、通電の有無、通信の可否】 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | ○ | 電話損傷<br>【転倒、損傷、通電の有無、通信の可否】 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | | （　　） | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |
| | | （　　） | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 | □有 □無 □不明 |

# 平成25年度藤沢市地震・津波対策避難訓練実施計画

## １　目　的

大規模地震発生時における市民及び海浜利用者などに、身の安全の確保と地震発生後に想定される津波から避難をするための避難経路と避難時における危険箇所の確認を行い、安全圏、高所または津波避難ビル等への緊急避難や避難対策の啓発を目的に訓練を実施します。

## ２　日　時

２０１３年(平成２５年)７月３日(水)　午後１時３０分～３時（雨天決行）

## ３　実施場所

**市内全域**

## ４　実施対象

（１）藤沢市総合防災センター
（２）地区防災拠点本部
（３）学校施設(全８１施設)
（４）片瀬東浜海岸
（５）片瀬西浜海岸
（６）辻堂海岸
　　海水浴客　４，４７２人（過去３年間の平均：７月１日から７日までの平日）
　　各海水浴場
　　サーファー　１，０００人　合計　５，４７２人
（７）市内居住者
（８）学生･児童等
（９）その他法人等
　　人口　４１６，６１１人　（１７７，２６０世帯）H25.3.1
　　※　住民等参加目標　２０％　（８３，２２２人）

## ５　訓練想定

（１）想定地震等

７月３日(水)午後１時３０分、相模湾を震源としたＭ７．９の大地震（南関東地震）が発生し、それに伴い気象庁は「相模湾・三浦半島」に大津波警報を発令、津波の第一波は１０分以内に本市に到達すると発表した。

ア　想定～地震動：南関東地震、津波：慶長型地震
イ　発生時間～７月３日（水）午後１時３０分
ウ　震源・規模～相模湾、マグニチュード７．９
エ　本市の震度～６強
オ　津波～第一波：１０分以内（２～３ｍ）、最大津波高：１０．７ｍ
カ　想定気象
（ア）　天候～曇り
（イ）　気温～２２℃
（ウ）　風速～５ｍ
（エ）　風向～南

（２）発災直後の本市の被害状況

ア　ライフラインの状況

（ア）電気 ・・・・市内のほぼ全域で停電の模様。
（イ）都市ガス・・市内の全域で供給停止の模様。
（ウ）ＬＰガス・・市内各所でかなりの数のボンベが転倒の模様。
（エ）水道・・・・市内全域で断水している模様。
（オ）電話・・・・加入電話はつながりにくい状況。
災害時優先電話は使用可能。
災害用伝言ダイヤルの運用を開始。
携帯電話も加入電話と同様につながりにくい状況。
災害時優先携帯電話は使用可能。
災害用伝言板の運用を開始。
メールは利用できる状況。

イ　交通機関の状況
（ア）ＪＲ、小田急、相鉄、横浜市営地下鉄、江ノ電、湘南モノレールは全て運行停止の模様。
（イ）バス、タクシー等は道路損壊のため運行停止の模様。

ウ　道路の状況
（ア）国道１号線（藤沢バイパス、新湘南バイパス）は、通行止めの模様。
（イ）国道１３４号線は、いたるところで道路損壊の模様。
（ウ）その他市内の道路については、いたる所で民家のブロック塀や立木、電柱等倒壊、道路の破損もあるため、通行困難な模様。

エ　河川及び橋梁の状況
引地川及び境川に架かる橋梁は、複数のクラックが確認されるも落橋はしておらず、通行可能な模様。

オ　港湾の状況
湘南港及び片瀬漁港では液状化が確認された模様。

## ６　訓練項目

震度情報並びに大津波警報を防災行政無線により全市域に放送し、次の訓練を実施する。

（１）震度情報伝達・発生時行動訓練
震度情報を防災行政無線により全市域、海岸利用者に伝達する。市内一斉に訓練参加可能者を対象として身の安全の確保（約１分間）を行う。

（２）津波情報伝達訓練
大津波警報を防災行政無線により全市域、海岸利用者に伝達する。

（３）津波警戒広報・避難誘導訓練
ア　海上保安庁ヘリコプターによる津波警戒広報（海上）
イ　神奈川県警察ヘリコプターによる津波警戒広報（陸上）
ウ　藤沢警察署による通行者の安全管理、地域の安全対策
エ　藤沢市南消防署及び藤沢市消防団による津波警戒広報
オ　各海水浴場組合による津波警戒広報及び避難誘導
カ　ライフセーバーによる避難誘導

（４）避難訓練
ア　海浜利用者

津波から退避するため、各海水浴場組合やライフセーバーによる避難誘導に応じて、海岸護岸及び遊歩道まで避難する。

イ　津波浸水想定区域居住者（2013 年津波避難訓練対象地域含む）

津波から退避するため､訓練対象者は本市が設定した 2013 年津波避難訓練対象地域線より安全な地域を第 1 目標として避難を行う。状況により第 1 目標に到達することが困難と判断した際は、津波浸水想定区域の高所、津波避難ビル等へ緊急避難を行う。(対象地域区分については別紙：津波浸水予測図参照)

（5）その他

ア　（株）ジェイコム湘南に協力依頼し、訓練参加者の避難状況を撮影して災害対策本部室にてモニター上映する。

イ　訓練参加者にアンケートを実施し、今後の参考とする。(対象者：(ア）津波浸水想定区域居住者　（イ）避難訓練対象学校・保育園・幼稚園関係者)

ウ　各地区の津波避難ビル（津波浸水想定区域）に市職員を配置し、案内や安全管理にあたる。

※　「地震・津波対策避難訓練職員配置表」については、別途作成する。

## 7　訓練項目に係る主な実施機関・実施対象者

| No. | 訓練項目 | | 実施機関・実施対象者 |
|---|---|---|---|
| 1 | 発生時行動訓練 | | 市内全員（訓練参加可能者） |
| 2 | 津波広報・避難誘導訓練 | 片瀬東浜海岸 | 江の島海水浴場営業組合、海上保安庁（ヘリ） |
| | | 片瀬西浜海岸 | 江の島海水浴場協同組合、海上保安庁（ヘリ） |
| | | 辻堂海岸 | 辻堂海水浴場協同組合、海上保安庁（ヘリ） |
| | | 江の島島内 | 藤沢市消防団（江の島島内は広報訓練のみ実施） |
| | | 津波浸水想定区域 | 藤沢市消防局、藤沢市消防団、県警察本部（ヘリ）、藤沢警察署 |
| | | R134 沿線 | 藤沢警察署、藤沢市消防局 |
| 3 | 避難訓練 | 片瀬東浜海岸<br>片瀬西浜海岸<br>辻堂海岸 | 片瀬東浜海岸・片瀬西浜海岸・辻堂海岸の海水浴場利用者等 |
| | | 津波浸水想定区域（2013 年津波避難訓練対象地域も含む) | 片瀬・辻堂・鵠沼地区の居住者、各学校・保育園･幼稚園関係者 |
| | | JR 東海道線以南地区 | 指定した各小中学校 |

注　発生時行動訓練：様々な人たちが様々な場所で、災害シナリオに基づき、同時に訓練を行います。基本的行動は､1 分間｢姿勢を低く､体･頭を守って､揺れが収まるまでじっとして｣となります。

## 8　事前広報

訓練実施に伴う事前広報を防災行政無線、掲示物、放送設備をもって行う。

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 訓練実施事前広報 | 防災危機管理室職員、JR 藤沢駅・辻堂駅、小田急電 |

| | | |
|---|---|---|
| | | 鉄(株)、湘南モノレール(株)、江ノ島電鉄(株)、<br>江の島海水浴場営業組合、江の島海水浴場協同組合、<br>(株)ジェイコム湘南、藤沢エフエム放送(株)、<br>(株)湘南リビング新聞社、(株)湘南よみうり新聞社、<br>(株)タウンニュース社 |

## ９　訓練参加機関等

### （１）主催者

| No. | 機　関　名　等 |
|---|---|
| 1 | 藤沢市<br>○防災危機管理室職員<br>○各部より動員の職員 |
| 2 | 藤沢市消防局、藤沢市消防団 |

### （２）協力団体

| No. | 機　関　名　等 |
|---|---|
| 1 | 江の島海水浴場営業組合、江の島海水浴場協同組合、辻堂海水浴場協同組合 |
| 2 | 海上保安庁、神奈川県警察本部、藤沢警察署、藤沢北警察署 |
| 3 | 県藤沢土木事務所、(株)湘南なぎさパーク（サーフビレッジ)、県立辻堂海浜公園 |
| 4 | JR 東日本（藤沢駅・辻堂駅)、小田急電鉄(株)、湘南モノレール(株)、江ノ島電鉄(株) |
| 5 | 日本ライフセービング協会、神奈川県ライフセービング連盟、西浜サーフライフセービングクラブ、サーフ９０藤沢ライフセービングクラブ、辻堂ライフセービングクラブ |
| 6 | 学校施設８１箇所 |
| 7 | 津波避難ビル８２対象（津波浸水想定区域（学校施設は上段に計上)) |
| 8 | (株)ジェイコム湘南、藤沢エフエム放送(株) |
| 9 | (株)湘南リビング新聞社､(株)湘南よみうり新聞社､(株)タウンニュース社 |

### （３）参加住民・海浜利用者

| No. | 団　体　名　等 |
|---|---|
| 1 | 市内居住者、保育園、幼稚園その他参加者 |
| 2 | 片瀬東浜海岸・片瀬西浜海岸・辻堂海岸の海浜利用者 |

## 10　関係機関（事前周知のみ・３１団体以上）

隣接七市町（鎌倉市、茅ヶ崎市、横浜市、大和市、綾瀬市、海老名市、寒川町)、県企業庁藤沢水道営業所、かながわ女性センター、横浜水上警察署、藤沢市観光協会、江の島振興連絡協議会、江の島片瀬漁業協同組合、藤沢市漁業協同組合、湘南藤沢マリン連盟、湘南マリンクラフト連盟、ＰＷ安全協会関東地方本部神奈川支部、藤沢市ヨット協会、日本サーフィン連盟、湘南ウインドサーフィ

ン協会、藤沢市サーフィン協会、京浜急行バス(株)、(株)江ノ電バス藤沢、神奈川中央交通(株)、江の島モーターボートクラブ、江の島ヨットクラブ、小田急ヨットクラブ、江島神社、商店会連合会、鵠沼ビーチクリーンクラブ、江の島遊覧船、新江ノ島水族館、県タクシー協会相模支部藤沢地区会、東日本電信電話(株)神奈川支店、東京電力(株)藤沢支社、東京ガス(株)湘南導管ネットワークセンター、国道１３４号沿線の店舗等、その他

## 11　服装について

防災危機管理室及び各施設に配置の市職員はヘルメット、防災服上下、名札及び腕章（靴については指定せず）

## 12　その他

訓練実施の市民への周知については、地区ごとに住民説明会を実施するとともに、広報ふじさわ 6/10 号に訓練開催について掲載する他、ミニコミ誌、HP 等あらゆる媒体を活用し行うものとする。

## 13　添付書類

（１）平成 25 年度藤沢市地震・津波対策避難訓練タイムスケジュール
（２）津波浸水予測図

以　上

事務担当　防災危機管理室
電話 0466-25-1111（内線 8504）

# 平成 25 年度　藤沢市 ICT-BCP 訓練について

藤沢市 IT 推進課

## 1　藤沢市の ICT-BCP の取り組み

藤沢市では、提供している行政サービスは、長期間停止した場合には市民生活や経済活動に多大な影響が出る重要インフラであるとの視点に立ち、災害時においても継続してサービスを提供するためには、情報システムやネットワークが必要不可欠であることから、重要と位置づけられるシステムの被害を最小限に止めるとともに、速やかに復旧することを目的に「藤沢市情報システムに関する業務継続計画(IT-BCP)」を策定しています。

これらの業務継続に関する取り組みを継続的に管理運用する手法として、「IT 継続マネジメント」を構築し、2010 年 12 月より IT 推進課を対象に導入しています。

また、これらの取り組みが継続的に有効であるかの評価をおこなうため、IT 部門の継続マネジメントに関する英国規格「BS25777」に基づく認証審査を 2011 年に受審しました。

その後、英国規格の ISO 化を経て、現在では、ISO の認証自体は返上していますが、これまでの活動の中で得られたマネジメントのノウハウを活かして、ISMS の活動の中で継続して取り組みをおこなっております。

2006 年 8 月　ISMS(ISO/IEC27001)認証取得
2008 年 5 月　藤沢市情報システムに関する業務継続計画＜地震編＞策定
2010 年 2 月　藤沢市情報システムに関する業務継続計画
　　＜新型インフルエンザ編＞策定
2011 年 3 月　ICT 継続管理規格 BS25777 認証取得
＊BS25777 について
2006 年 8 月に BSI（英国規格協会）が発行した PAS77（IT サービス継続性マネジメント）を元としており、BS25777 は、ICT 継続性マネジメントシステムの構築に必要なガイドとして位置付けられる国際的な規格です。
2012 年 3 月　ISO／IEC27031 認証取得

## 2　平成 25 年度 ICT-BCP 訓練について

### （１） 訓練の目的

本市システムやネットワークが市民生活や経済活動に密接に関わる重要インフラであるという認識に立ち、災害時においてもシステム等の被害を最小限にとどめ、速やかに普及することを目的にＩＣＴ-ＢＣＰを策定していますが、その活動が発災から 72 時間までの初動段階で有効に機能しているのかの評価をするため、訓練を実施したものです。

### （２） 訓練の概要

今回の訓練では、同日に実施された「平成 25 年度藤沢市地震･津波対策避難訓練」の訓練想定を参照しました。

① 想定地震（藤沢市地震･津波対策避難訓練より）

(ｱ)日時：7 月 3 日(水)　午後 1 時 30 分

(ｲ)気象状況：曇り、気温 22℃、風速 5m、風向は南向き

(ｳ)被害

相模湾を震源とした M7.9 の南関東地震が発生し、それに伴い気象庁は相模湾･三浦半島に大津波警報を発令。津波の第一波は 10 分以内に本市に到達すると発表された。

本市の最大震度 6 強、津波の最大高は 10.7m と想定されている。

② 発災後の本市の被害想定

(ｱ)ライフライン

・電気　市内のほぼ全域で停電
・都市ガス　市内の全域で供給停止
・ＬＰガス　市内各所でかなりの数のボンベが転倒
・水道　市内全域で断水
・加入電話　繋がりにくい状況
・災害時優先電話　使用可能
・災害用伝言ダイヤル　運用開始
・携帯電話　繋がりにくい状況
・災害時優先携帯電話　使用可能

・災害用伝言板　運用開始

・メール　利用可能

(ｲ)公共交通機関

・鉄道　JR 東日本、小田急、横浜市営地下鉄、江ノ電、湘南モノレールはすべて運行停止

・バス　道路損壊のため運行停止

・タクシー　道路損壊のため運行停止

(ｳ)交通インフラ

・バイパス　藤沢バイパス、新湘南バイパスは通行止め

・国道　国道 1 号線は通行止め、国道 134 号線はいたるところで道路損壊

・その他県道、市道　いたるところで民家のブロック塀、立木、電柱等が倒壊、道路の破損もあるため通行困難

(ｴ)河川、橋梁

・河川　引地川、境川は影響なし

・橋梁　複数のクラックが確認されるも落橋はなし。

(ｵ)港湾

・湘南港　液状化

・腰越港　液状化

（３） 訓練体制

① ＩＴ継続事務局(統括)　課長補佐１名、情報政策２名

② 施設確認(屋外・屋内被害状況、電源等)　情報政策担当　１名＋課長補佐

③ システム統括　課長補佐１名

④ ネットワーク確認　常駐ＳＥ１名

⑤ 情報系システム確認　情報系１名

⑥ 基幹系システム確認　基幹系１名

（４） 訓練スケジュール

別紙　行動計画書のとおり

（５） 訓練結果

今回の訓練では、5 月 8 日に公開された ICT-BCP 初動版を念頭に訓練を実施しま

したが、使用した書式類については、これまで使用してきたチェックシート等を活用しました。また、各担当の行動についても、これまで使用してきた行動計画書に基づき訓練を実施しました。

今回の訓練では、ＩＴ推進課の全人員の半数程度で実施しましたが、想定したよりも人員の少なさを感じました。実際の発災時には、もっと人員が確保できない可能性もあるため、より少ない人員で対処可能かどうかについても検討を行わなければならないと感じました。

加えて、ＩＴ推進課は外部からの訪問者（開発ＳＥ等）が多いため、発災時には、それらの人々の安否確認をどのように行うのか、どのように行動してもらうかなどについても検討が必要であると感じました。

そのほか、今回の訓練を通して明らかとなった課題や改善点については、BCP の改訂にあわせて整合性を図っていきたいと考えています。

（６） 今後の課題

・チェックシートが現行のシステム構成、ネットワーク構成とあっていないものがあった。
・日常で使用している監視用ソフトにあわせたチェックシートとなっていなかったため、各システム、ＮW機器の確認に時間がかかってしまった。
・監視ソフトに頼らない死活監視方法を再度確認しておく必要がある。
・災害対策本部で必要としているシステムの洗い出しが行われていないため、どのシステムを優先して復旧するかの順位付けを再度行う必要がある。
・発災時に必要となるシステムは何か？　ＮW、ポータル機能、インターネット？
・各装置のごとの機能と一覧が必要
・チェックシートを冊子で準備していたが、必ずしもすべての書類が必要となる訳ではないため、シートの準備方法を再考する必要がある。
・行動計画において、周辺庁舎の確認が含まれているが、そもそも発災時に外に確認に行くことが妥当かどうか。
・復旧させる施設の優先順位付けを行ったほうがよい。例えば、新館、市民センター、市民病院、保健所といった順に。

・行動計画は必要だが、変更管理をどのようにおこなうのかの観点が必要。
・何をもって確認が完了したとするのか。判断基準が必要。
・まず何をすべきなのか。人として、公務員として、ＩＴ推進課職員として。
・最悪の状況時の対処方法は？　システムを全停止する場合の手順は？
　マシン室内での停止の優先順位は？
・非常時に使用する無線、ライト等の充電は常にできているか？

## 3　今後の ICT-BCP の取り組み

今回課題となった点を中心に、行動計画や様式の再検討を行うとともに、今秋を目処に、初動版や改定中の地域防災計画のエッセンスをとりいれて、ICT-BCP の改訂を行う予定です。

## 4　訓練風景

【ネットワーク死活確認】

【行動予定表を活用した安否確認】

5　参考添付資料

（1） 行動計画書

（2） 被害評価チェックシート（システム、ネットワーク、建物）

（3） 平成 25 年度藤沢市地震・津波対策避難訓練実施計画